

■第5次佐川町総合計画 施策評価シート

分野	教育	施策番号
施策	佐川オリジナル教育による学力の向上	1
主管課	教育委員会事務局	

施策方針
かつて名教館で行われていた特色のあるレベルの高い教育を継承し、時代の変化に対応できる未来の担い手を育てていくため、佐川ならではの独自性のある学校教育をすすめ、確かな学力の育成を目指します。

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	総合評価	B	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
	総合評価		
B			

	取組	主管課	達成区分
1	人のため、社会のために行動できる人材の育成	教委	B
2	モノづくりなど創造性を育てる教育の推進	教委	B
3	子どもの教育環境の整備	教委	B
4	保・小・中・高の連携による一貫した教育の提供	教委	B
5	子ども達のチャレンジを後押しする支援制度の充実	教委	B
6	教職員力と学校力の向上	教委	B
7	国際化に対応する英語教育の充実	教委	B
8			

成果や効果
<p>ふるさと教育を中心にさかわ未来学は、予定通りに進み、授業改善が進み、これが学校の落ち着きと、学力の学校間格差の是正傾向につながっている。全国学力・学習状況調査結果も、ほぼ全国平均並みで推移するようになってきた。</p> <p>また、学校の落ち着きとともに、重い課題であった不登校問題も、中学校での不登校発生率が低下傾向にあるなど、成果が波及してきている。</p> <p>さらに、ふるさと教育の効果により、佐川でくらすことを望む児童が増加し、少子化対策、地域の活性化にも効果が見込まれる。</p>

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性
<p>さかわ未来学を一層推進し、主体的・対話的で深める学習を進め、学力の向上をめざす取組を継続し、学力の学年・学級・個人の格差を緩和するなど確かな成果につなげる。さらに、図書館さくと開館をきっかけに社会教育全体でも取り組み、文教の町の顕現化をめざす。</p> <p>同時に「佐川でくらしたい」児童生徒が、「そのために私はこうする」と考え、具体的な将来像を持つことができるよう産業政策も併せて支援する。</p>

■第5次佐川町総合計画 施策評価シート

分野	教育	施策番号
施策	地域資源に学ぶふるさと教育の推進	2
主管課	教育委員会事務局	

施策方針	
佐川町を担う人づくりの視点として、地域の歴史・文化・産業への理解を深め、郷土愛を育てるため、町内の人的・文化的資源を活用したふるさと教育を推進します。	

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>	総合評価	A	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
総合評価			
A			

取組		主管課	達成区分
1	地域資源を活用した独自のふるさと教育の充実	教委	A
2	地域の歴史・文化・産業を学ぶ機会の充実	教委	A
3	教職員の地域活動の推進	教委	A
4	学校における食育の推進及び学校給食の充実	教委	A
5			
6			
7			
8			

成果や効果	
<p>サカワーク・サカワークデジタルを作成し、活用を第3期佐川町教育振興基本計画全体に位置づけ、教育行政全体で取り組み、佐川で暮らしたいとする児童が大幅に増加するなどの成果につながり、ふるさと教育推進の気運が高まった。</p>	

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性	
<p>学校教育で継続・充実させながら、図書館さくと開館をきっかけに社会教育全体で取り組み、文教の町り顕現化をめざす。</p> <p>さかわ未来学の地域拠点として、地域資料の収集・活用・保存（佐川町デジタルアーカイブ 住民参加型コンテンツ）を進める。</p>	

■第5次佐川町総合計画 施策評価シート

分野	教育	施策番号
施策	地域ぐるみ教育の体制づくり	3
主管課	教育委員会事務局	

施策方針	
子どもたちが地域との関わりの中で育つように、町民と交わり、町民から学べる地域ぐるみ教育の推進体制を整えます。また、地域の側から子どもたちに関わっていく機運を高めます。	

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	総合評価	B	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
	総合評価		
B			

取組		主管課	達成区分
1	地域住民を先生に据えた授業の充実	教委	B
2	「コミュニティ・スクール」など地域ぐるみでの学校づくりの推進	教委	B
3	子どもたちの地域活動への参加推進	教委	C
4	青少年の育成	教委	B
5			
6			
7			
8			

成果や効果	
<p>地域学校協働本部の設置により、多くの地域の方が学校活動に関わることで、地域全体で子どもたちを見守り、育てていく体制が整った。</p> <p>また、子どもたちが地域の方との関わる機会が増えることで、地域の持つ魅力を再発見するきっかけにもなり、体験を通じて、子どもたちの郷土への愛着が育まれている。</p>	

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性	
<p>地域学校協働本部は普及したが、協力してくれるメンバーが固定化・高齢化が進んでいる。また、地域と学校をつなぐ地域コーディネーターの人材育成と確保が必要。</p>	

■第5次佐川町総合計画 施策評価シート

分野	教育	施策番号
施策	スポーツ・文化活動を楽しむ社会教育の推進	4
主管課	教育委員会事務局	

施策方針	
幅広い年齢層が参加できるスポーツ・文化活動等の生涯学習の機会を増やします。また、既存の活動団体との連携を深め、スポーツ・文化活動の機運を高めます。	

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">C</td> </tr> </table>	総合評価	C	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
総合評価			
C			

取組		主管課	達成区分
1	教え、教えられる場づくりの推進	教委	C
2	多世代が参加できる生きがいづくりの場の推進	教委	C
3	図書館など社会教育施設の充実	教委	C
4	活動発表の機会の充実	教委	C
5	活動情報の収集と発信	教委	C
6			
7			
8			

成果や効果	
<p>・図書館や町民テニスコートといった社会教育施設の整備により、生涯学習や交流の機会を増やすことができた。</p> <p>・牧野富太郎ふるさと館、名教館、高知大学出前公開講座などを通して、住民の方が生涯にわたって学べる場を作ることができた。</p> <p>・体育会や文化推進協議会の各主要事業の記念大会においては、関係団体との連携を強化し、新たな取組を取り入れ、大幅な参加者増を実現することができた。</p>	

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性	
<p>各取組について、一定の成果は得られているが、町民プールや青山文庫の整備など、検討期間の長期化による影響が出ている案件については、費用面を含めた現実的な打開策を改めて模索する必要がある。</p>	

■第5次佐川町総合計画_施策評価シート

分野	教育	施策番号
施策	自然環境を大切にしている意識の醸成	5
主管課	住民課、教育委員会事務局	

施策方針
<p>町民全体の、町内における自然環境への関心を高めて、環境保全をより一層進めます。また、恵まれた自然環境を大切に次代に伝えるため、町内に自生する牧野富太郎博士ゆかりの植物についての学習に取り組むなど、町内の自然環境への関心と意識を高める取り組みを進めます。</p>

<table border="1"> <tr> <th style="text-align: center;">総合評価</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	総合評価	B	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
総合評価			
B			

取組		主管課	達成区分
1	野外体験活動の充実	教委	B
2	学校での環境学習の推進	教委	A
3	環境・景観保全活動の推進	教委	A
4	環境・景観保全活動の推進	住民	B
5	循環型社会づくりの推進	住民	B
6			
7			
8			

成果や効果
<ul style="list-style-type: none"> ・サカワーク・サカワークデジタルの作成、活用によりふるさと教育の一環としての環境教育が進んだ。 ・さくとの庭をデザインした事業所を講師に迎え、イベント「みんなでつくろう さくと植物マップ」を開催。牧野植物図鑑やアプリを活用して植物を同定する活動は、佐川の植物への関心を高めるのに有効であった。 ・不法投棄、資源回収推進、家電リサイクルの分野については、啓発の結果、周知が行き届いている。

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが環境学習の成果を生かし、身の周りのことから取り組むよう行動の変容を促す。 ・周知は行き届いているが、実際のごみ削減については、目標値に達しておらず、今後も継続的な啓発活動が必要である。

■第5次佐川町総合計画 施策評価シート

分野	教育	施策番号
施策	魅力ある佐川高校づくりの支援	6
主管課	教育委員会事務局	

施策方針
町内外から多くの生徒があつまり、教育が充実するよう、魅力ある佐川高校の実現を目指し、行政、地域、高校の連携を強化するとともに、地域資源を活かし、地域住民の力を借りて特色のある授業や活動を実施するなど、地域と行政が積極的に応援する体制づくりをすすめます。

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">C</td> </tr> </table>	総合評価	C	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
総合評価			
C			

取組		主管課	達成区分
1	佐川高校を町民全体で盛り上げる気風の醸成	教委	C
2	行政、高校、地域住民の連携強化	教委	C
3	学校の取り組みに対する支援の充実	教委	C
4	学力向上への支援体制の充実	教委	C
5			
6			
7			
8			

成果や効果
<ul style="list-style-type: none"> ・中高連携については、生徒会による中高生会議の取り組みが進んだが、他には進展が見られない。 ・図書館情報資源を活用した授業支援（総合的な学習の時間、保育の授業での読み聞かせ講座・読み聞かせ体験）を継続する中で、高校生の日々の図書館利用が増えつつある。

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・佐川高校振興を目指し、中高の連携を強化する。 ・図書館情報資源を活用した授業支援（総合的な学習の時間、保育の授業での読み聞かせ体験）を継続すると共に、高校生が地域と交流できる場を提供する。

■第5次佐川町総合計画 施策評価シート

分野	産業と仕事	施策番号
施策	農業振興と6次産業化の推進	7
主管課	産業振興課	

施策方針
農業に取り組みやすい環境づくりや基盤整備を行い、町経済を支える基幹産業を強化します。また6次産品化など、農作物を活かした付加価値の高い商品の開発と地産地消、地産外商を促進します。

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	総合評価	B	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
総合評価			
B			

	取組	主管課	達成区分
1	農業基盤整備の推進	産振	C
2	農業所得の向上に向けた学びの場の充実	産振	B
3	農産物の6次産品化の推進	産振	B
4	耕作放棄地の整備と活用の推進	産振	A
5	農家を支える仕組みづくり	産振	B
6			
7			
8			

成果や効果
<p>農業施設の改修や改良を実施することで営農活動の維持・改善につながった。</p> <p>地域の共同活動による取り組みの事務処理を支援することで、活動組織の維持や新規地区の取り組みにつながっている。また、耕作放棄地解消事業も個人や組織から申請があり、想定以上に活用された。</p> <p>農地の耕作条件改善や耕作放棄地発生防止に大きな効果を発揮する、ほ場整備も佐川地区で約20haの規模で事業が実施される。</p>

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性
<p>施設園芸は、資材高騰により新規就農者の初期投資が増加しているため、お試しハウスを含めた参入リスクを軽減する取り組みが必要となる。</p> <p>農業施設については、今後も計画的に修繕等を継続していくとともに、地域で農地を守る共同活動についてもこれまでどおり積極的に支援を行う事で、耕作放棄地の発生を抑止する。</p> <p>また、ほ場整備事業は、農業の生産環境等を改善するための効果は大きいと考えるので、共同活動をするエリア等で実施の可能性があれば、積極的に勉強会等を実施していく必要がある。</p>

■第5次佐川町総合計画 施策評価シート

分野	産業と仕事	施策番号
施策	自伐型林業を核とした林業の推進による雇用づくり	8
主管課	産業振興課	

施策方針	
豊かな森林資源を活用した林業を推進し、林業を始めやすく、従事しやすい環境づくりに取り組み、自伐型林業を核とした雇用の場を創出します。	

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">C</td> </tr> </table>	総合評価	C	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
	総合評価		
C			

取組		主管課	達成区分
1	林家のスキル向上の場づくり	産振	C
2	自伐型林業に従事する地域おこし協力隊の雇用	産振	C
3	放置されている山林資源の一元管理、整備	産振	C
4	林業従事者への支援体制強化	産振	C
5	森づくりの普及、啓発活動の推進	産振	C
6			
7			
8			

成果や効果
<p>新規林業従事者等に対する支援体制を充実させ、参入障壁を下げたことで、地域おこし協力隊の任期満了者が担い手として一定数が定住し、森林整備等に従事している。</p> <p>林地の集約化については、システムの導入など環境を整備し仕組みを構築したことで、順調に民有林の管理契約を締結し、効率的な森林整備につながっている。</p> <p>また、林業従事者が増えたことで町産材を活用した加工品（薪や木工品等）も販売されるようになった。</p>

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性
<p>担い手については、活動経費の確保ができたこともあり協力隊の制度を活用してきたが、町外から定住してくれた林業従事者が一定数いるため、これからも協力隊で確保するのか地元の若者等が職業として選択できるようにしていくの検討していく必要がある。</p> <p>集約化は、継続して実施していくが、意向調査に反応しない所有者の森林により、効果的な森林整備を実施できない場合にどのような対応をしていくかを検討・整理する必要がある。</p>

■第5次佐川町総合計画 施策評価シート

分野	産業と仕事	施策番号
施策	さかわ産木材を活用したものづくりの推進	9
主管課	まちづくり推進課	

施策方針	
木材の加工・販売が行える体制を整え、さかわ産の木材を活用したものづくりを推進し、ものづくりのできる人材を育成します。	

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	総合評価	B	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
	総合評価		
B			

取組		主管課	達成区分
1	加工施設の整備	まちづくり	B
2	ものづくりの人材の確保と育成	まちづくり	B
3	ものづくりを学ぶ場の創出	まちづくり	B
4			
5			
6			
7			
8			

成果や効果
<p>さかわ発明ラボの協力隊を毎年度募集し、人材育成を継続して行ってきたことで、卒業生も増え、町内でもものづくりを行う人材は増えている。また、ラボの放課後発明クラブの卒業生が佐川高校に進学し、高校での活動もみられるなど、ラボ自体の認知度の向上とともに町全体へのものづくりが広がっていることが見て取れる。</p>

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性
<p>さかわ発明ラボで活動する協力隊の確保が困難となっていることや機材の耐用年数もあるので、引き続き佐川町産材の出口としてのラボの存在やものづくりの推進については検討が必要。</p>

■第5次佐川町総合計画 施策評価シート

分野	産業と仕事	施策番号
施策	農業・商工業の後継者対策の推進	10
主管課	産業振興課	

施策方針	
農業・商工業を推進・発展させ、未来へつなげるために、I・Uターン者などを中心とした担い手を確保し、後継者の育成を推進します。	

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	総合評価	B	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
総合評価			
B			

	取組	主管課	達成区分
1	新規就農者の支援	産振	C
2	農商工の基盤継承の推進	産振	B
3	広報活動など情報発信の強化	産振	B
4	事業承継の推進	産振	B
5			
6			
7			
8			

成果や効果
<p>農業の担い手は、産地提案書や地域おこし協力隊の募集により、一定の新規就農者の確保につながっている。</p> <p>また、関係機関と連携して営農指導や経営指導を実施することで、良好な経営を支援することができている。</p> <p>商業については、チャレンジショップをオープンし、新たに出店を計画するチャレンジャーを募集したことにより、空き店舗や自宅での開業につながった。</p>

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性
<p>新規就農者の確保については、これまで通り関係者と連携しながら募集等を継続する必要がある。</p> <p>チャレンジショップについては、これまでは飲食店ができなかったため、新たなチャレンジショップを令和7年度にオープンし、飲食店の町内出店を後押しする。</p> <p>併せて、起業時に活用できる町単独の助成事業を創設し、出店のリスク軽減を図る。</p>

■第5次佐川町総合計画 施策評価シート

分野	産業と仕事	施策番号
施策	スモールビジネス起業支援による商工振興	11
主管課	産業振興課	

施策方針
地域の良さを活かした新たな産業の創出や意欲ある起業家への資金や設備面での総合的な支援を積極的に行い、地域資源を活用したスモールビジネスの起業を支援します。

<table border="1"> <tr> <th style="text-align: center;">総合評価</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	総合評価	B	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
総合評価			
B			

取組		主管課	達成区分
1	スモールビジネス起業支援に関する仕組みづくり	産振	B
2	起業家対象の研修会等の実施	産振	B
3	空き家や空き店舗の活用の推進	産振	B
4	スモールビジネスを地域で支える体制づくりの強化	産振	B
5			
6			
7			
8			

成果や効果
<p>商工会で会員に対して、後継者や商店街等に関するアンケート調査を実施したが、結果の活用にまで至らなかった。</p> <p>事業者に対しては、商工会で研修会の開催や、個別に事業承継等の相談があれば県の助成事業を活用するなどして対応を行った。</p>

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性
<p>アンケート結果により、事業者のうち後継者がいるところは一部であるうえ、店舗兼住宅となっているところが多いため、事業承継等が進みにくい環境にあると考えている。</p> <p>県には、店舗と住居スペースを区分けする補助事業等もあるので、事業者からの要望やチャレンジショップ利用者からの出店希望等があれば関係機関と連携し個別に対応をする必要がある。</p>

■第5次佐川町総合計画_施策評価シート

分野	産業と仕事	施策番号
施策	さかわ産商品の開発・流通・販売体制の整備	12
主管課	産業振興課	

施策方針	
地域資源を活用した、さかわならではの特産品の開発を推進します。また、開発に関わる人材の育成や、さかわブランドの推進に加え、国内外を含めた流通体制を強化、整備します。	

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	総合評価	B	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
総合評価			
B			

取組		主管課	達成区分
1	道の駅を含めた販売施設・体勢の整備	産振	B
2	佐川町の資源を活かした商品開発の支援	産振	B
3	流通、販売におけるネットワークづくり	産振	B
4	開発、流通、販売スキル向上の推進	産振	B
5			
6			
7			
8			

成果や効果	
<p>道の駅の運営を担う財団法人を設立し、商品開発事業を3年間委託したことにより、佐川町に関連する多くの商品が開発された。また、道の駅建設に伴い事業者が独自に開発をした商品も多くあり、道の駅オープンにより佐川の商品が多く販売されている。</p> <p>また、開発された商品の中には、ふるさと納税の返礼品として取り扱っているものもある。</p>	

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性	
<p>令和7年度から土佐FBCの受講支援を実施し、開発等に興味のある人材を増やしていく。直販の青果については品薄の時期があるため、はちきんの店や農家と直接連携するなどして、売れる農産物を販売していける仕組みが必要となっている。</p> <p>また、道の駅での販売だけでは、売上の上がる時期が限定される（平日が少ない）ため、ECサイトや商談会等での外商を進めていく必要がある。</p>	

■第5次佐川町総合計画 施策評価シート

分野	産業と仕事	施策番号
施策	企業誘致による雇用づくり	13
主管	まちづくり推進課	

施策方針	
<p>空き家整備などを通じ、立地条件や移転の仕組みを整え、全国から、さかわの資源を活用したビジネスが行える企業を誘致します。</p>	

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">D</td> </tr> </table>	総合評価	D	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
総合評価			
D			

取組		主管課	達成区分
1	営業活動による企業誘致の推進	まちづくり	D
2	空き家、空き店舗の活用制度の充実	まちづくり	D
3	メディアを活用した情報発信の強化	まちづくり	D
4			
5			
6			
7			
8			
9			

成果や効果	
<p>個人の空き家情報の収集や、周知については実施できているが、企業の誘致や店舗の開設にはつながっていない。令和5年度に放送されたNHKの連続テレビ小説「らんまん」の放送により町の知名度は上がったが、制度の構築や県との連携もできておらず、生かし切れていない。</p>	

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性	
<p>高知西バイパスの開通など、交通の利便性はよくなっており、市町村単位での誘致活動でなく、通勤圏内を考慮した県全体での施策が求められる。</p>	

■第5次佐川町総合計画_施策評価シート

分野	結婚・出産・育児	施策番号
施策	出会い・恋愛・結婚の希望を叶える環境づくり	14
主管	まちづくり推進課、健康福祉課	

施策方針	
結婚を望む男女の出会いの機会づくりを地域ぐるみで後押しするための体制、仕組みをつくりまします。	

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">C</td> </tr> </table>	総合評価	C	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
総合評価			
C			

取組		主管課	達成区分
1	婚活イベントの支援	まちづくり	D
2	結婚を地域ぐるみで後押しする体制の強化	健康	B
3	出会いを促進する情報発信の強化	まちづくり	D
4			
5			
6			
7			
8			

成果や効果
支援策としては、健康福祉課から「こうち出会いサポートセンター」への登録料の支援のみで、出会いの促進に特化した取り組み（支援体制の構築や観光事業との連携）はできていない。

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性
令和6年度から実施している同窓会支援等の事業を実施し、人口減少対策として継続していく。

■第5次佐川町総合計画 施策評価シート

分野	結婚・出産・育児	施策番号
施策	安心して子どもを産める環境づくり	15
主管課	健康福祉課	

施策方針	
医療や福祉などとの連携を強化し、次世代を担う子ども達を安心して、産み育てられる環境づくりを推進します。	

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	総合評価	B	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
総合評価			
B			

取組		主管課	達成区分
1	妊産婦への支援体制強化	健康	B
2	保育サービスの充実	健康	B
3	地域子ども子育て支援事業の推進	健康	C
4	妊娠、出産に関する情報発信の強化	健康	B
5	出産、育児における保健、医療、福祉、教育などのネットワークづくり	健康	B
6			
7			
8			

成果や効果
<p>子育て世代包括支援センターの設置、産後ケア事業の推進等により、母子保健分野において妊娠期から切れ目ない支援体制が整った。</p> <p>以前から充実していた保育サービスについて、延長保育、障害児保育などを継続実施し、保育所の受入れ体制を確保するとともに、出産準備支援給付金、保育料の無償化の拡充、保育所副食費の無償化など、町独自の子育て支援策を実施することにより、子育てしやすい環境が進んだ。</p> <p>平成30年3月に「子育てしやすいまち」宣言を行い、町ぐるみで子育て支援に取り組む機運が高まった。</p>

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性
<p>様々な子育て支援策を実施しているものの、少子化対策としての効果が見えにくい状況にある。</p> <p>保育士の不足や児童数の減少等を踏まえ、将来的には保育所の統廃合についても視野に入れていく必要がある。</p> <p>町独自の子育て支援策については、財源確保の状況も踏まえつつ、維持か拡充かの方向性を検討していく必要がある。</p>

■第5次佐川町総合計画_施策評価シート

分野	結婚・出産・育児	施策番号
施策	地域ぐるみで子育てできる環境づくり	16
主管課	健康福祉課	

施策方針	
子育てを地域ぐるみでサポートする体制づくり、子どもと子育て中世帯に優しい環境づくりを進め、地域全体で子育てを後押しします。	

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	総合評価	B	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
総合評価			
B			

取組		主管課	達成区分
1	子育てを地域で手助けする仕組みづくり	健康	B
2	地域で子どもを育てる意識啓発の推進	健康	B
3	P T Aや子ども会などへの地域住民の参加の推進	教委	C
4	支援が必要な家庭への援助サービスの充実	健康	B
5	ファミリーサポートセンター事業の推進	健康	B
6			
7			
8			

成果や効果
<p>ファミリーサポートセンター事業について、年々着実に会員数が増加しており、住民相互の助け合いの仕組みとして、モデル的な取組となっている。</p> <p>N P O法人などの地域団体が中心となり、各地区のあったかふれあいセンター（集落活動センター）を舞台に、地域行事や、地域と保育・学校との交流イベントなどを行うことで、地域ぐるみで子育てする環境が進んだ。</p> <p>社会教育団体の1つである佐川町P T A連合会が行う継続した事業に対する支援を行っており、P T A活動の活性化や機運向上に計画期間に渡り寄与している。</p>

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性
<p>地域で子どもを見守り、支えるボランティアの方々の固定化や高齢化が進んでおり、地域を担う人材の確保に向け、次世代との世代間交流を進めていく必要がある。</p>

■第5次佐川町総合計画_施策評価シート

分野	結婚・出産・育児	施策番号
施策	子どもが安心して遊べる環境づくり	17
主管課	健康福祉課、教育委員会	

施策方針	
小さな子どもをもつ家族や子ども同士でも安心して出かけ、遊べる環境づくりを推進します。	

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	総合評価	B	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
総合評価			
B			

取組		主管課	達成区分
1	自然を活用した安心して遊べる場の整備	健康	B
2	親子連れに優しい環境づくりの推進	健康	B
3	地域での子どもの見守り体制の強化	健康	C
4	地域での子どもの見守り体制の強化	教委	B
5			
6			
7			
8			

成果や効果
おもちゃ美術館、道の駅に隣接する遊具公園の整備を通して、親子が安心して遊べる環境づくりが進んだ。 朝夕の巡回補導や各校の挨拶運動支援等に從事している。

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性
親子連れが安心して参加できるよう、各種イベントでの配慮や、公共施設におけるおむつ替えスペースの整備など、子育て世代に配慮した環境づくりを進める必要がある。 青少年健全育成の観点から継続的な事業推進が望まれる。

■第5次佐川町総合計画 施策評価シート

分野	結婚・出産・育児	施策番号
施策	子育て世代を支えるつながりの強化	18
主管課	健康福祉課	

施策方針	
子育て世代同士の交流を促進し、子育てに対する悩みや疑問を共有できる、助け合える、学び合える関係づくりを推進します。	

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	総合評価	B	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
総合評価			
B			

取組		主管課	達成区分
1	子育てに関する情報交換や学習機会の充実	健康	B
2	子育てを通じたコミュニティづくりの推進	健康	B
3	子育て世代の交流機会の創出	健康	B
4			
5			
6			
7			
8			

成果や効果
<p>子育て支援センターの継続実施により、特に保育園等に通っていない保護者同士の交流、情報共有の場が確保されている。</p> <p>ファミリーサポートセンター事業の継続実施により、子育て世代を含む住民同士の支え合いの風土が育っている。</p>

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性
<p>子育て支援センターについては、より専門的なアドバイスの提供や、時代に即した取組・イベントを継続的に実施できるよう、人員体制の強化を含む体制整備が必要である。</p> <p>ファミリーサポートセンター事業では、会員の継続的な拡大に向けた取組が求められる。</p>

■第5次佐川町総合計画_施策評価シート

分野	結婚・出産・育児	施策番号
施策	働きながら育てられる環境づくり	19
主管課	健康福祉課、教育委員会事務局	

施策方針	
家庭・保育・学校・行政の連携を強化し、仕事と家庭を両立できる就労環境づくりを推進します。	

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	総合評価	B	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
総合評価			
B			

取組		主管課	達成区分
1	父親の育児参加の促進	健康	B
2	仕事と家庭を両立するための支援体制づくり	教委	B
3	仕事と家庭を両立するための支援体制づくり	健康	B
4	子育てに関する相談機会の充実	健康	B
5	「病児・病後児保育」など母子保健対策の推進	健康	C
6	学童保育事業など子育て世代のニーズにあったサービスの充実	教委	B
7	学童保育事業など子育て世代のニーズにあったサービスの充実	健康	B
8			

成果や効果
<p>低年齢児からの保育所の受け入れ、手厚い障害児保育事業の実施のほか、ショートステイ、病後児保育事業、ファミリーサポートセンター事業などを実施し、保護者が仕事と家庭を両立できる環境は確保されている。</p> <p>R5年度にナウマンクラブの建物を新築、定数を拡大した。またR6年度からはナウマンクラブ（放課後児童クラブ）は学校行事の代休日も開設することで、保護者ニーズを拾い上げることができている。放課後子ども教室は学校の空き教室を利用し、放課後の居場所づくりを行っている。</p>

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性
<p>病後児保育事業が保育士等のスタッフ不足により休止状態となっており、現在の事業体制では再開が厳しい状況である。他市町村事業の利活用も含めて方向性の決定が必要である。町全体で障害児（特に支援が必要な児童）の放課後の居場所と長期休暇中の居場所を今後どうするか、休校中の黒岩中学校の利活用も含めて検討しなければならない。</p>

■第5次佐川町総合計画_施策評価シート

分野	観光振興と情報発信	施策番号
施策	“植物の町”を打ち出す観光コンテンツの開発	20
主管課	まちづくり推進課、産業振興課	

施策方針	
佐川町にある植物・森林・農作物などの豊富な自然資源の魅力をも再発見・再発掘し、佐川町の自然をまるごと体験できる多種多様な観光コンテンツを開発します。	

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	総合評価	B	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
	総合評価		
B			

取組		主管課	達成区分
1	植物の町を打ち出す広報活動の実施	まちづくり	A
2	自然体験型のイベントやプログラムの開発	まちづくり	A
3	自然資源を活かした観光名所づくりの促進	まちづくり	A
4	多様な農作物を活かした特色のある食体験の充実	産振	B
5	自然資源を利用したお土産品の開発	まちづくり	A
6			
7			
8			

成果や効果	
<p>道の駅ができたことで、テナントとして入っているレストラン、パン、ファストフード店や直営のカフェでも、佐川町の食材を活用した多彩な食を多くの観光客に提供できるようになった。また、おもちゃ美術館が併設されたことで、遊びを通じて植育・職育に触れることができるようになった。休憩等での滞在にあわせて、町内の観光情報を発信することで道の駅以外への誘客につなげている。</p> <p>牧野公園の整備や「植物の町」としてのブランディング化は、10年計画の整備計画が順調に終了したことで、「らんまん」の放送も相まって急速に推進され、牧野公園草花ガイドも活動を始めるなど、観光コンテンツとして定着した。また、山野草ファンを中心としたリピーターも確保できている。</p> <p>また、牧野公園以外の山野草の群生地にも目が向けられ地域住民の力で観光客を呼び込むことに成功している。</p>	

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性	
<p>遊びの目的でリピーターは多くいると感じているが、食を目当てにしたリピーターの獲得につなげていきたい。</p> <p>おもちゃ美術館では、植物や林業に関係した佐川らしいワークショップの開催等も実施していく。</p> <p>今後は、「植物の町」として認知度をさらに上げていくためにも、魅力の更新を行いつつ情報発信を進める必要がある。</p> <p>そのためには、維持管理や整備を継続して行いつつ、サポーターや、牧野公園はなもりC-LOVEのボランティアの新規獲得が必須となる。</p>	

■第5次佐川町総合計画 施策評価シート

分野	観光振興と情報発信	施策番号
施策	“ 文教の町 ” を伝える観光コンテンツの開発	21
主管課	教育委員会事務局、まちづくり推進課	

施策方針	
地域に受け継がれてきた伝統芸能や文化、歴史的遺産を、地域みんなで磨き上げ、町内だけにとどまらない、学び、体験できる観光コンテンツを開発します。	

B	総合評価
	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>

	取組	主管課	達成区分
1	歴史的な遺産や街なみの維持及び管理	まちづくり	C
2	歴史的な遺産や街なみの維持及び管理	教委	B
3	地域での伝統芸能継承活動の促進	教委	B
4	地域における伝統行事の外部への情報発信の強化	まちづくり	C
5	地域における伝統行事の外部への情報発信の強化	教委	B
6	伝統芸能に触れる観光プログラムの充実	まちづくり	C
7	歴史的遺産を学ぶ学習型プログラムの充実	教委	B
8	文化財保護活用の推進	教委	B

成果や効果
<p>牧野富太郎ふるさと館では毎年植物を活用したイベント等を10年間で約24種類行った。名教館を会場とした高知大学出前講座は牧野富太郎関係だけでなく天体や地学、考古学など幅広いジャンルの講演を10年間で計18回実施。その他酒蔵ロード劇場や酒蔵の道ひなまつりなどで作品展示等を行った。その他ガイド利用・案内や俳句会小川中学校への講演会など観光客、学校生徒を始めとする年齢問わず多様な人々の生涯学習の場となった。</p> <p>歴史まちづくり事業を実施しつつまちあるきガイドなどガイド団体への支援、歴史的な建物の利活用、観光協会の街並みを生かしたイベントの実施など、町の歴史的な資源を生かした取り組みを行い、魅力の発信に努めた。</p>

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性
<p>牧野富太郎ふるさと館や名教館、佐川文庫庫舎等と活用した、イベント等は参加者にとって、佐川の歴史に楽しく触れることができる貴重な機会のため今後も継続していきたい。四ツ白の太刀踊りなどの伝統芸能については、より多くの子供たちの参加、町外の方への周知を目的とした広報活動をしていきたい。</p> <p>地域に残る伝統芸能は、担い手不足にも直面しておりその確保は喫緊の課題となっている。そのうえで観光との連携を検討していく必要がある。また、歴史的な資源だけを観光素材として磨き上げてそこに刺さる観光客は少なくなるので、同時に現在の佐川町の魅力も発信することが必要。今後の事業の展開としては、「過去」と「現在」のような時間的な分断のない観光振興策が必要。</p>

■第5次佐川町総合計画 施策評価シート

分野	観光振興と情報発信	施策番号
施策	佐川ブランドの確立と情報発信の強化	22
主管	まちづくり推進課	

施策方針	
<p>関係機関と連携しながら、自然や歴史などの魅力ある地域資源を活かした「佐川ブランド」を形成し、町一丸となったイメージづくりに努めます。また、これらを全国に向けて発信し、佐川ブランドの認知度向上を推進します。</p>	

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	総合評価	B	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
総合評価			
B			

取組		主管課	達成区分
1	ブランドガイドラインの作成と運用体制の整備	まちづくり	B
2	さかわブランドの体系づくり	まちづくり	B
3	ブランドイメージの情報発信の促進	まちづくり	B
4			
5			
6			
7			
8			
9			

成果や効果
<p>令和5年に放送されたNHKの連続テレビ小説「らんまん」により「植物の町」としてのブランドは、全国的に認知度が向上している。</p> <p>また、重要な情報発信のツールとなっているSNSを有効に活用すべく、協力隊等のミッションとして取り入れ情報発信を強化した。</p>

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性
<p>全国区となった認知度を維持し、リピーターを確保しながら、観光協会等関係機関と連携して観光振興を図る。また、日々変化する情報発信ツールの効果的な使用やインバウンド対応も意識した事業の実施などニーズに対し柔軟に対応できるような予算確保も必要となる。</p>

■第5次佐川町総合計画 施策評価シート

分野	観光振興と情報発信	施策番号
施策	観光エキスパート人材の育成	23
主管	まちづくり推進課、教育委員会事務局	

施策方針	
町民全員が佐川町の歴史や資源を深く知ることで、佐川の魅力を再認識するとともに、佐川町の魅力を外部に発信できる人材を育成し、町全体で佐川を盛り上げる気運をつくります。	

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">C</td> </tr> </table>	総合評価	C	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
総合評価			
C			

取組		主管課	達成区分
1	町民自身が地域の魅力を再発見する機会の創出	まちづくり	D
2	町民自身が地域の魅力を再発見する機会の創出	教委	B
3	観光に携わる関係主体が共に学ぶ体制づくり	まちづくり	D
4	観光ガイドの組織づくりの推進	まちづくり	D
5			
6			
7			
8			

成果や効果
<p>「わんぱく」への参加を契機に、若干数ではあるが一部の事業者が常設の観光体験商品を「じゃらん」などに出品するようになり、観光エキスパート人材の育成につながった。「わんぱく」自体は、仁淀ブルー観光協議会での同様の事業の実施や、参加事業者の減少、参加者の減少等もあり令和5年度で終了した。</p> <p>また、予期しない「らんまん」の放送は、ガイドの育成が進むなど町全体の観光で町を盛り上げる機運の醸成には追い風となった。</p>

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性
<p>観光協会等関係団体等だけでなく、小さな産業として観光に携わる人材を育成していくことは、町全体で佐川を盛り上げることにつながる。引き続き仁淀ブルー観光協議会の実施する博覧会へ参加を促すことで人材を育成については継続していく。</p> <p>また、今ある町の資源とともに道の駅やおもちゃ美術館といった新たに開業した施設や、令和9年度に開業予定の焼酎蔵など新たな魅力も効果的に発信する必要がある。</p>

■第5次佐川町総合計画 施策評価シート

分野	観光振興と情報発信	施策番号
施策	観光協会・行政・町民が一体となった観光客受け入れの整備	24
主管	まちづくり推進課	

施策方針	
観光の中心機関となる観光協会をはじめ、行政、地域住民が一体となり、町ぐるみで観光客を受け入れる体制の強化を図ります。	

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">A</td> </tr> </table>	総合評価	A	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
総合評価			
A			

取組		主管課	達成区分
1	観光協会、行政、住民の協働体制の強化	まちづくり	A
2	観光拠点施設の充実	まちづくり	A
3	地域密着型の観光サービスの充実	まちづくり	A
4	国内外交流の推進	まちづくり	A
5	仁淀川流域など広域観光の推進	まちづくり	A
6			
7			
8			
9			

成果や効果
平成26年度から10年計画で実施した牧野公園の整備は、目標以上の成果となっており、また、令和5年の「らんまん」放送前には、県の博覧会事業を利用して、受け入れ態勢を整えるとともに、地域の住民も補助金を利用して関連事業を実施するなど観光協会、行政、地域住民が一体となり観光客を受け入れることができた。

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性
今後は、牧野関係だけでなくその他の資源や魅力を発信するとともに、牧野関係以外の地域の資源を活用した取り組みをしている地域住民との連携をはかる（県のどっぴり高知旅キャンペーンなど）ことで相乗効果を期待できる。

■第5次佐川町総合計画 施策評価シート

分野	観光振興と情報発信	施策番号
施策	情報発信と雇用・住環境整備を中心とした移住・定住促進	25
主管	まちづくり推進課	

施策方針
1次産業との連携強化や空き家の整備により、移住者の雇用と住居を確保します。また、地域ぐるみで移住者をサポートする体制の充実を図るとともに、移住者にとって必要な情報を効果的に発信していきます。

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">C</td> </tr> </table>	総合評価	C	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
総合評価			
C			

取組	主管課	達成区分
1 空き家の調査とリノベーション	まちづくり	C
2 1次産業との連携強化による仕事と住居が一体となった移住プログラムの充実	まちづくり	C
3 移住者のニーズにあった仕事情報の提供	まちづくり	C
4 移住者のニーズに即した移住制度の整備	まちづくり	C
5 移住情報の発信の強化	まちづくり	C
6		
7		
8		
9		

成果や効果
<p>空き家の掘り起こしや空き家バンク制度の周知については、集落活動センター等と連携して取り組み、バンク登録物件数が増加。情報が充実し、移住希望者の物件選定の幅も広がっている。</p> <p>また、雇用に関しては、協力隊の紹介を行っている。協力隊卒業後は6割以上が佐川町に定住している。近年では、林業、ものづくりだけでなく有機農業やいちご、はちきんの店、道の駅、図書館など幅広い分野での募集を行っている。</p>

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性
<p>佐川町空き家活用住宅については、利用が減少してきており、「移住者の求める住居」と「提供できる住居」に乖離がある可能性がある。</p> <p>また、協力隊制度を取り入れる自治体も増え、選択肢が広がったため、応募数が減少している。</p> <p>住まいや仕事は移住における重要事項であり、人口減少対策としても移住・定住事業は重点課題となってくる。今後は、移住希望者が求める情報や、佐川町の住みやすさなどの魅力を効果的に発信していく。</p>

■第5次佐川町総合計画 施策評価シート

分野	健康と福祉	施策番号
施策	予防医療サービスの充実	26
主管課	健康福祉課	

施策方針
高北病院をはじめとした関係機関とのさらなる連携強化を図り、町民一人ひとりが健康な生活を送ることができるよう、健康教育・予防医療の充実を推進します。

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	総合評価	B	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
総合評価			
B			

取組		主管課	達成区分
1	日常的な予防医療の充実	健康	B
2	健康づくりに関する学習機会の充実	健康	B
3	健康相談体制の充実	健康	B
4			
5			
6			
7			
8			

成果や効果
<p>コロナワクチンを含め、予防接種事業を着実に実施した。</p> <p>百歳体操、ふれあいサロン、あったかふれあいセンター事業（出前講座等）などによるフレイル・介護予防の取組も着実に推進してきた。</p> <p>健康パスポート事業、健康ウォーキングなど、地域住民が主体となる健康づくりを推進したことにより、健康づくりを自分ごととしてとらえる機会が増え、健康増進の意識づけが定着してきた。</p>

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性
<p>出前講座の内容や講師も充実してきたが、主な開催場所はあったかふれあいセンター5か所となっている。地域の集まりでの開催は、地域の拠点を相談しながら、実施を検討していく。全世代型の健康づくりの推進を図る。（ターゲットの若年化）</p>

■第5次佐川町総合計画 施策評価シート

分野	健康と福祉	施策番号
施策	健康診断受診の習慣化の促進	27
主管課	住民課、健康福祉課	

施策方針
<p>疾病の早期発見・早期治療のためにも、定期的な健康診断の受診が大切です。全国的に遅れをとっている健康診断受診率の向上を推進します。</p>

<table border="1"> <tr> <th style="text-align: center;">総合評価</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">C</td> </tr> </table>	総合評価	C	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
総合評価			
C			

取組		主管課	達成区分
1	健診受診グループづくりの推進	健康	C
2	柔軟性のある検診機会の創出	住民	C
3	柔軟性のある検診機会の創出	健康	C
4	健康診断に関する情報発信の強化	住民	C
5	健康診断に関する情報発信の強化	健康	C
6			
7			
8			

成果や効果
<p>出前講座等を通じて集団健診（セット健診）の受診勧奨を行ったが、健（検）診の受診率は目標値に届かず、伸び悩む結果となった。しかし、特定健診の受診率は9年間で大幅に向上しており、一定の成果は見られた。</p> <p>国民健康保険被保険者の受診率は、計画当初からは受診率は伸びているが、目標値には達しておらず、現在、国平均の少し上の受診率を維持している。</p>

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性
<p>受診率向上に向け、効果の高い他市町村の事例等を情報収集し、当町に合った方策を検討する。</p> <p>また、健康指導の委託など新たな試みを実施しているが、今後受診率をアップするには、医療機関とのさらなる連携が必要である。</p>

■第5次佐川町総合計画 施策評価シート

分野	健康と福祉	施策番号
施策	地域ぐるみでの健康づくりの推進	28
主管課	住民課、健康福祉課、教育委員会事務局	

施策方針	
<p>地域での健康づくりの活動を支援します。生活習慣病を予防し、健康な生活を送ることができるよう、運動や食生活の改善に関する意識啓発と情報発信を行います。</p>	

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	総合評価	B	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
	総合評価		
B			

取組		主管課	達成区分
1	スポーツを中心としたコミュニティづくりの推進	教委	C
2	散歩やランニングなどを通じた健康づくりの推進	健康	B
3	住民が自由に使える運動の場の整備	教委	C
4	保健や福祉、医療が連携した健康指導の充実	住民	A
5	食生活改善運動の推進	健康	B
6			
7			
8			

成果や効果
<p>町民テニスコートの整備、町民プールの改修工事（天井・空調）を行うことにより、健康づくりやスポーツ振興につながる一つの拠点としての機能を向上させることができた。</p> <p>食生活改善推進協議会が実施する保育所・学校訪問、料理教室、講座等により、子どもから高齢者まで全世代にわたり、食育の意識啓発がなされている。</p> <p>地域団体等が主催するウォーキングイベントが増え、参加者や運営の担い手にとっても、心身の健康づくりにつながっている。</p>

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性
<p>町民プールの整備方針の検討期間が長期化しており、施設の老朽化に伴う不具合も多発していることから、安定的な利用が懸念されている。費用面と、健康づくり・スポーツ振興を両立させる方向性を見出せるかが課題である。</p> <p>健康づくりを自分ごととして捉える風土づくりを進めるとともに、生活スタイルに応じて、楽しみながら継続して健康づくりが行えるきっかけづくりにも取り組んでいく。</p>

■第5次佐川町総合計画 施策評価シート

分野	健康と福祉	施策番号
施策	セカンドライフ充実のための生きがいづくり支援	29
主管課	健康福祉課	

施策方針
高齢者の世代間交流や、仲間づくりを支援し、高齢者の生きがいや居場所づくりなどセカンドライフの充実を推進します。

<table border="1"> <tr> <th style="text-align: center;">総合評価</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	総合評価	B	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
総合評価			
B			

取組		主管課	達成区分
1	世代間交流の推進	健康	B
2	あったかふれあいセンターの活用の促進	健康	B
3	生きがいづくりの意識啓発と情報発信	健康	B
4	同世代との交流の場づくりの推進	健康	B
5	退職者の活躍の場づくりの推進	健康	B
6			
7			
8			

成果や効果
セカンドライフ夢追い塾（佐川町社会福祉協議会）の実施、町内5地区でのあったかふれあいセンターの実施、集落活動センターでの高齢者の出番づくり等を通じて、高齢者の生きがいや居場所づくりが進んだ。

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性
これまでの取組を継続的に実施する

■第5次佐川町総合計画 施策評価シート

分野	健康と福祉	施策番号
施策	地域の力を引き出す地域包括ケアの体制整備	30
主管課	健康福祉課	

施策方針	
<p>年老いても、住み慣れた地域で、その人らしい生活を継続できるよう、地域ぐるみでの支援体制づくりに取り組みます。</p>	

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	総合評価	B	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
	総合評価		
B			

取組		主管課	達成区分
1	地域ケア会議の活用促進	健康	B
2	認知症患者、家族への支援体制の充実	健康	C
3	地域ぐるみ体制の強化	健康	B
4			
5			
6			
7			
8			

成果や効果
<p>地域ケア会議、在宅医療・療養連携推進事業等を通じて、介護・医療・福祉の関係機関の連携による地域包括ケアの取組が進んだ。</p> <p>認知症サポーター養成講座、さかわSOSネットワーク事業（徘徊リスク等のある住民の事前登録制度）、介護教室・家族の集い（講座）を通じて、地域全体で認知症高齢者等を見守る取組が進んだ。</p>

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性
<p>これまでの取組を継続的に実施するとともに、第10期介護保険事業計画（令和9～11年度）との整合を図りながら、利用者の多様なニーズに対応するために、地域の社会資源の開発を進めていく。</p>

■第5次佐川町総合計画_施策評価シート

分野	健康と福祉	施策番号
施策	障害児者福祉の推進	31
主管課	健康福祉課	

施策方針	
<p>障害児者とその家族が、安心して社会生活を営むことができるよう、必要な設備の整備やサービスの向上に取り組みます。また、教育・就労等の機会を充実させるため、関係機関との連携を強化します。</p>	

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	総合評価	B	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
	総合評価		
B			

取組		主管課	達成区分
1	日常生活を支える環境の整備	健康	B
2	相談支援体制の充実	健康	B
3	教育、就労、社会活動の機会の充実	健康	B
4	関係機関との連携強化	健康	B
5	障害者福祉の啓発活動の推進	健康	C
6	地域福祉、安全対策の推進	健康	B
7	保健医療の推進	健康	C
8			

成果や効果
<p>日中一時支援事業、放課後等デイサービス事業、放課後子ども教室など、行政・事業所が連携して、障害のある子どもの居場所づくりに努めた。</p> <p>共生型施設ぷらっとホームさかわ（社協）が開設され、障害児者のサービス利用の確保がなされた。</p>

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性
<p>障害福祉施策については、特に事業所、施設整備や人材確保などの面で、県や近隣市町村と連携して取り組む必要がある。</p> <p>地域活動支援センターについては、体制が整わず設置に至っていないが、今後は近隣市町村と連携した取組も視野に入れて検討していく。</p> <p>増加傾向にある障害のある児童への対応についても、県・近隣市町村との協働によるサービス確保が求められる。</p> <p>障害のある人が安心して避難できる福祉避難所の確保についても、検討・整備を進めていく必要がある。</p>

■第5次佐川町総合計画 施策評価シート

分野	安全・安心	施策番号
施策	南海トラフ地震に備えた町づくり	32
主管課	総務課、建設課、教育委員会事務局	

施策方針	
近い将来、高い確率で発生する南海トラフ地震による被害を最小限にするため、住宅の耐震化や家具の転倒防止対策等に取り組み、地震に強い町づくりを進めます。	

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	総合評価	B	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
	総合評価		
B			

取組		主管課	達成区分
1	建築物や公共施設の耐震化の促進	総務	B
2	建築物や公共施設の耐震化の促進	教委	B
3	一般住宅の耐震化の促進	建設	C
4	家具転倒防止策の推進	総務	B
5	避難経路の支障となりうる空き家住宅等の対策	建設	C
6	拠点避難所の機能強化	総務	B
7	災害時に救援部隊が展開する防災拠点の整備	総務	—
8			

※災害時に救援部隊が展開する防災拠点の整備として、霧生関防災拠点整備事業を実施予定であったが、令和4年5月末に道の駅建設に伴い事業廃止。

成果や効果
<p>緊急避難場所となる非木造以外の公民館は、耐震化を完了しており、小中学校についても計画的に耐震化を実施し、すでに完了している。</p> <p>住宅の耐震化については、国・県の目標に合わせて本町も93%を目標としていたが、現時点での達成見込みは71%となっている。ただし、10年間で10%以上改善しており、一定の成果が見られる。</p> <p>防災サロンや高齢者向け行事の場で家具の固定を呼びかけ、年平均約3世帯への金具取付を実施するなど、家庭内防災の取組も推進している。</p>

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性
<p>今後も住宅の耐震化率向上のため、更なる啓発、補助金額アップの検討、低コスト工事の普及を進める必要がある。また、老朽住宅除去事業とあわせて、空き家の減少対策、移住定住の人口減少対策も同時に進める必要がある。</p> <p>また、室内の安全性向上を目的に、防災サロン等の様々な機会を通じて、家具等の固定化の啓発にも引き続き取り組んでいく。</p>

■第5次佐川町総合計画 施策評価シート

分野	安全・安心	施策番号
施策	自主防災組織の活性化と防災となり組の促進	33
主管課	総務課	

施策方針
災害時には地域で支え合い、お互いに助け合える仕組みが重要となります。そのため、自主防災組織や防災となり組といった地域で自立的に助け合える組織づくりを促進します。また、自主防災組織が災害時にスムーズな防災活動を行えるよう、防災資機材の整備や学習会・防災訓練の実施を支援します。

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	総合評価	B	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
総合評価			
B			

取組	主管課	達成区分
1 自主防災組織、防災となり組の組織化	総務	B
2 自主防災組織における防災資機材や防災マップの整備促進	総務	B
3 防災訓練や防災学習会の促進	総務	C
4 各世帯ごとの避難計画の作成支援と自主防災組織による避難支援体制の整備促進	総務	B
5		
6		
7		
8		

成果や効果
<p>自主防災組織の設立率は94.6%となっており、一部地域を除きほぼ全ての地区で設立されている。</p> <p>また、防災となり組（社会福祉協議会所管）については、令和元年度までは結成が徐々に進んでいたが、令和2年度以降はコロナ禍の影響により新たな結成には至っていない。</p> <p>自主防災組織における資機材の再整備や炊き出し訓練等の防災訓練は、一部の組織において毎年度実施されている。</p>

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性
<p>災害時には地域での支え合いが必要不可欠となっており、日ごろから防災となり組などを通じた地域住民のつながりを醸成することは重要と考える。今後も、引き続き、防災となり組の結成を促すとともに、既存組織の活動などを通じた活性化は重要と考えている。</p> <p>また、自主防災組織においては、資機材の整備、充実は引き続き継続する必要があると考える。また、整備した資機材を使った訓練や学習会などを通じ、組織の活性化を図ることも重要と考えている。</p>

■第5次佐川町総合計画 施策評価シート

分野	安全・安心	施策番号
施策	住民生活を支えるインフラ整備	34
主管課	総務課、住民課、建設課	

施策方針	
道路や水道、学校、公民館などの住民生活を支える公共財産を最適に維持管理するため、公共財産の管理計画を策定し、町民と協力しながらインフラ整備に取り組みます。	

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	総合評価	B	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
	総合評価		
B			

取組		主管課	達成区分
1	道路、橋梁の長寿命化計画の推進	建設	B
2	水道事業経営計画の策定と推進	建設	A
3	ごみ処理対策の推進	住民	B
4	生活排水、し尿処理対策の推進	住民	B
5	公共住宅を中心とした住環境の整備	総務	B
6	ドクターヘリの受け入れ先の充実	総務	C
7	地域住民主導のインフラ整備の推進	総務	B
8	地域住民主導のインフラ整備の推進	建設	B

成果や効果
<p>道路法改正（H26）以降、積極的にメンテナンスに取り組んだ結果、Ⅲ判定（早期措置）の橋梁は残り1橋となり、インフラの安全性は概ね確保されている。トンネルも修繕工事を完了済み。</p> <p>水道事業についても、経営計画の着実な実施により、大規模地震等による施設被害リスクの低減が図られている。特に老朽管路更新事業は、計画を上回るペースで進められている。</p> <p>ごみ処理、生活排水については、事業を継続的に実施できている。</p> <p>防犯灯は、自治会が補助制度を活用し、増設や更新を行うことで地域の防犯対策が進んでいる。また、公民館については、自治会からの要望に基づき補助金を活用し、備品整備や修繕を実施。日常利用に加え、災害時の緊急避難場所としての機能維持と充実が図られている。</p>

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性
<p>橋梁などのインフラについては、予防保全型メンテナンスの考え方を取り入れ、優先順位に基づく効果的な対策によりトータルコストの低減を図っていく。</p> <p>水道事業については、令和6年度に経営計画の改定を行っており、今後の事業方針に応じた人員確保や、料金改定を含む資金確保が必要である。</p> <p>霧生関防災拠点施設に整備していた緊急離着場は、道の駅建設に伴い廃止となった。佐川・斗賀野・加茂地区を網羅する離着場であったことから、引き続き代替施設の整備を検討していく。</p>

■第5次佐川町総合計画 施策評価シート

分野	安全・安心	施策番号
施策	安全・安心対策の強化	35
主管課	総務課	

施策方針	
<p>火災はもとより、多種多様な災害に迅速に対応できるよう、高吾北消防本部と連携し、消防団の育成・強化をはじめとする消防・救急体制の充実に努めます。また、交通事故と犯罪のない、安全・安心な町づくりのため、関係機関と連携し、道路環境の整備や交通安全意識の啓発に努めるとともに、犯罪抑止のための防犯灯整備や、近年多発する特殊詐欺、悪質商法などから消費者を保護し被害を未然に防止する対策に取り組めます。</p>	

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	総合評価	B	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
	総合評価		
B			

取組		主管課	達成区分
1	防災施設整備の充実	総務	B
2	防災施設整備の充実	建設	B
3	緊急用ヘリコプター離着陸場の整備	総務	C
4	老朽化による危険箇所の解消	建設	B
5	交通危険箇所の解消	総務	C
6	交通危険箇所の解消	建設	B
7	交通安全意識の普及啓発	総務	B
8	消防団の育成、支援	総務	B
9	特殊詐欺被害の未然防止対策及び消費者保護対策の推進	総務	B
10	特殊詐欺被害の未然防止対策及び消費者保護対策の推進	住民	B

成果や効果
<p>老朽化した消防車両の更新を順次進め、消防力増進を図った。高吾北消防署の協力による年1回の連合演習訓練を実施し、消防団の育成と強化が図られた。</p> <p>防犯灯については、自治会が補助制度を活用し、増設や更新を行うことで地域の防犯対策が推進された。また、交通安全対策として、自治会によるカーブミラーの設置が進み、危険箇所の解消が一定程度図られた。</p> <p>急傾斜地の防災対策や交通安全対策工事については、少しずつではあるが着実に進捗しており、住民の安全な住環境の整備が進められている。また、道路環境についても、佐川町舗装個別施設計画に基づく修繕により、町道の長寿命化対策が順調に進んでいるほか、小規模な補修についても迅速に対応し、住民の安全な暮らしに寄与している。</p>

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性
<p>地域防災力の向上に不可欠な消防団の育成強化に向けては、今後も引き続き高吾北消防本部と連携し、連合演習訓練を継続して実施する。</p> <p>交通安全対策についても、危険箇所へのカーブミラーの設置を自治会と連携して進めるとともに、防犯対策についても、これまでと同様の取り組みを継続していく考えである。</p> <p>道路等インフラメンテナンスの更新時期が一斉に到来していることから、現状は対症療法的な対応が中心となっているが、今後は費用対効果や優先順位を考慮しつつ、引き続き計画的な整備に取り組んでいく。</p>

■第5次佐川町総合計画_施策評価シート

分野	安全・安心	施策番号
施策	ITを活用したあんしん生活情報の共有	36
主管課	総務課	

施策方針	
地震、風水害などの災害情報、多様化する犯罪から身を守る防犯情報に加え、イベントや行政情報などの生活情報を各種IT手段を使って共有し、町民の安全、安心な暮らしを守ります。	

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	総合評価	B	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
総合評価			
B			

取組		主管課	達成区分
1	多様な情報通信手段の活用	総務	B
2	ホームページの内容充実とタイムリーな情報更新	まちづくり	A
3	メール配信システムの適切な運営	総務	—
4			
5			
6			
7			
8			

成果や効果
<p>防災行政無線システムの更新にあわせて、従来のメール配信システムを廃止し、新たにLINE配信機能を導入した。LINEは高い利用率と即時性を兼ね備えており、より多くの住民に迅速かつ確実に情報を届けることが可能となった。</p> <p>ホームページのリニューアルによる内容の充実、また、各担当がSNSを活用した情報発信を行うことで、利用者にタイムリーな情報提供を行っている。</p>

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性
<p>防災行政無線は、非常時や平時における、行政から住民への貴重な伝達手段であるとの考えのもと運用の充実を図っていきたいと考えている。</p> <p>今後も町ホームページやSNSにより、タイムリーな情報提供を行う。また、必要に応じて、ホームページのリニューアル等を検討していく必要がある。</p>

■第5次佐川町総合計画 施策評価シート

分野	安全・安心	施策番号
施策	地域の実情に即した公共交通の確立と維持	37
主管課	まちづくり推進課、健康福祉課	

施策方針	
佐川町の公共交通として町が委託する代替バスとJRがありますが、公共交通空白地域が多く存在しています。地域のニーズに合った新たな公共交通を確立し、利便性の向上を図ります。	

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	総合評価	B	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
総合評価			
B			

	取組	主管課	達成区分
1	地域公共交通計画の策定と推進	まちづくり	B
2	新しい移動手段の導入の検討	まちづくり	B
3	移動に関する地域内での支え合いの推進	まちづくり	B
4	移動に関する地域内での支え合いの推進	健康	B
5			
6			
7			
8			

成果や効果
<p>H28年度に公共交通計画を策定し、H29年度よりぐるぐるバスの運行を開始した。R4年度に第2期の公共交通計画の策定、R6年度には、新たなアクションプランの策定を行い、計画に基づき事業を実施している。利用促進策として、地区別意見交換会、バス乗り方教室やおでかけイベントの実施、地域住民や利用者、乗務員などの意見をもとに毎年、経路やダイヤの見直しを行っている。利用者は年々増加傾向にあり、R5年度には目標値の1万人を超えた。</p> <p>高齢者等の移動手段の確保について、あったかふれあいセンター利用者の送迎機能とさかわぐるぐるバスとの接続連携などの取組により、空白地域やバス停まで行けない方の利便性向上に寄与した。</p>

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性
<p>目標としていた利用者数の1万人を超えることはできたため、引き続き利用促進策に取り組み、利用者数の増加を目指す。一方で高齢化や人口減少などにより、バスの利用がなく、バス停を休止している区間が増えつつあるため、地域の実情に合わせた交通手段の導入検討を行う必要がある。</p> <p>あったかふれあいセンターの送迎機能の更なる周知と、需要に応じた各あったかふれあいセンターの体制整備の検討が必要である。</p> <p>福祉的な観点からの新たな支援策の検討が必要である。</p>

■第5次佐川町総合計画 施策評価シート

分野	安全・安心	施策番号
施策	支えあい・助けあいネットワークの推進	38
主管課	健康福祉課	

施策方針
<p>少子高齢化の進行に伴い、核家族化や高齢者のひとり暮らしが増加しています。また、生活様様の多様化により、人と人とのつながりが希薄化しており、支えあい助けあえる関係づくりが重要となっています。まずは誰もが集える場づくりを推進し、地域での助け合いを推進します。</p>

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	総合評価	B	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
総合評価			
B			

	取組	主管課	達成区分
1	地域内での支え合いネットワークづくり	健康	B
2	集落活動センターやあったかふれあいセンターなどを活用した誰でも集える場の整備	健康	B
3	集落活動センターやあったかふれあいセンターなどを活用した誰でも集える場の整備	まちづくり	B
4	民生委員や世話役の育成	健康	C
5	生活困窮者の生活支援及び社会参加への支援	健康	C
6			
7			
8			

成果や効果
<p>町内4地区に集落活動センターを整備するとともに、町内すべての地域にあったかふれあいセンターを設置し、地域の活性化および地域福祉の拠点整備を行った。これにより、誰でも気軽に集い、交流を深める場が各地区に整えられた。</p> <p>地域のNPO団体等が主催（あったかふれあいセンターも関与）し、地域の高齢者宅へボランティアが出向き草刈りなど困りごとの支援を行う「お助けイベント」が定着し、地域住民同士の支え合いの意識が醸成されてきた。</p>

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性
<p>民生委員の欠員地区が増加しており、日常的な高齢者等の地域の見守りに課題が出てきている。</p> <p>複合的な課題（孤立、貧困、介護、子育て、障害等）を抱える対象者を多機関協働のもとで支援する「重層的支援体制整備事業（R8～）」の実施等により、地域福祉を推進する。</p>

■第5次佐川町総合計画_施策評価シート

分野	行財政	施策番号
施策	行政職員の能力強化	39
主管課	総務課	

施策方針	
多様化・高度化していく行政需要に的確に対応し、地域課題の解決に取り組むため、職員の人材育成に取り組みます。職員1人ひとりが、常に求められる役割を意識し、能力を高め、組織全体としても職員の人材育成を推進します。	

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	総合評価	B	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
総合評価			
B			

取組		主管課	達成区分
1	多様な職員研修の実施	総務	B
2	人事評価制度、適材適所の人材配置の推進	総務	B
3	地域担当制導入の検討	総務	D
4	職員の自主性を高める仕組みづくり	総務	B
5			
6			
7			
8			

成果や効果
全庁に職員研修の推進と研修計画の周知に取り組んだことにより、職場外研修への参加者も増加しており、職場内や自身の役割の意識付け、スキルアップの向上へつながっていると考える。

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性
社会情勢の変化もあり、採用試験の受験者の減少、若手職員の離職の増加が深刻化しており、行政ニーズの高度化・多様化が進むなか、人材をいかに確保・育成していくかについて、これまで以上に注力していく必要がある。

■第5次佐川町総合計画 施策評価シート

分野	行財政	施策番号
施策	コンプライアンスの徹底	40
主管課	総務課、会計課	

施策方針
公正な町政運営を行っていくための基本となるコンプライアンスを徹底します。社会規範に反する不適切な処理・決定を防ぐために、職員一人ひとりがコンプライアンスへの意識をもち業務を行っていくよう研修を実施し、適切な事務処理を行える組織づくりを推進します。

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">C</td> </tr> </table>	総合評価	C	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
	総合評価		
C			

取組		主管課	達成区分
1	事務処理、会計処理の研修の実施	会計	B
2	OJTの徹底	総務	C
3	マニュアル、指針の策定	総務	C
4			
5			
6			
7			
8			

成果や効果
「OJTマニュアル」や「佐川町職員の懲戒処分の基準等に関する規程」を作成し、職員に対して内容の周知を図った。

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性
作成したマニュアルの周知徹底や職員研修を継続して実施するとともに、多様化する時代の変化に対応できるよう、内容の見直しやマニュアルの更新も適宜行っていく必要がある。

■第5次佐川町総合計画 施策評価シート

分野	行財政	施策番号
施策	開かれた組織づくり	41
主管課	総務課	

施策方針
町民ニーズの多様化や社会状況の変化に柔軟に対応できる開かれた組織づくりに取り組みます。人物を重視した計画的な職員採用の実施や人事評価を反映させた職員の適材適所の人事配置を行います。また、縦割りではなく、プロジェクトチームなど横断的に業務を実施できる体制づくりを推進します。

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">C</td> </tr> </table>	総合評価	C	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
総合評価			
C			

	取組	主管課	達成区分
1	外部組織との連携強化	まちづくり	B
2	事業の見直し、改善の実施	総務	C
3	庁議の活性化	まちづくり	B
4	組織体制の充実による住民サービスの向上	総務	D
5			
6			
7			
8			

成果や効果
観光協会や集落支援員（集活）とは定期的に、自治会とは随時ミーティングを開催。また、各地区での地区懇談会を通じて、町からの情報発信や地域の課題・問題点の共有を行い、町民のニーズ等に柔軟に対応できる体制が取れている。さらに、月2回、定期的に庁議を実施することにより、各課の事業の情報共有や意思決定をスピーディーに行える体制が構築されている。

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性
各課局によって地域との関わりに差があるため、各職員それぞれが地域に出向き、地域の住民と接する機会を持つことが重要。業務だけでなく、居住地区の総会やイベント等にも、積極的に楽しんで参加できる意識の醸成が必要である。

■第5次佐川町総合計画 施策評価シート

分野	行財政	施策番号
施策	将来を見据えた財政運営	42
主管課	総務課、産業振興課、住民課	

施策方針
<p>自主財源に乏しい財政状況の中、地域課題やめまぐるしく変化する社会状況に対応するため、将来を見据えた安定的な財政運営に取り組みます。多様化する住民ニーズを的確に把握しつつ、中長期的な財政の健全性を確保していくことが重要となります。</p>

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	総合評価	B	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
総合評価			
B			

	取組	主管課	達成区分
1	公共財産管理計画の策定と推進	総務	B
2	自主財源確保の徹底	総務	A
3	自主財源確保の徹底	産振	A
4	自主財源確保の徹底	住民	B
5	公共施設等の総合的かつ計画的な管理	総務	B
6	PDCAサイクルに基づく事業の見直しや改善の推進	総務	C
7			
8			

成果や効果
<p>中期財政計画を策定し、適宜改訂を行っている。また、現計画には、健全な財政運営に向けた目標と取り組みが盛り込まれており、町財政の安定的な運営に活用している。</p> <p>滞納整理による自主財源の確保については、一定成果がでている。</p> <p>ふるさと納税の地域おこし協力隊を雇用し、返礼品の開発・開拓やECサイトへの掲載に尽力したことで、評価の高い目玉商品等が生まれ、寄付額の増加につながった。その後、安定的な寄付額の増加を図るため、掲載するECサイトの拡充、返礼品ラインナップ数の増加に合わせて、専門業者へ委託しPR業務を積極的に実施している。</p>

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性
<p>今後も引き続き、中期財政計画の策定及び改訂を行ない、町財政の安定的な運営に活用していく。</p> <p>自主財源確保の一つとして滞納整理は今後も継続して取り組む。</p> <p>多くのECサイトがふるさと納税を取り扱うようになったことで、ショッピング感覚の納税者も増えてきており、そのニーズに対応した返礼品の準備が必要となっている。サイト上での写真映えだけでなく、高評価のレビューを獲得するなど、他の自治体の商品に埋もれないための戦略が必要である。</p>

■第5次佐川町総合計画 施策評価シート

分野	行財政	施策番号
施策	役場と地域をつなぐ広報・広聴の強化	43
主管課	まちづくり推進課	

施策方針
<p>広報誌やホームページなどの内容充実と利便性の向上を図り、行政と住民が情報を共有することで町づくりに一体となって取り組む体制を構築します。また、広聴体制を充実させるため、地域での意見聴取の機会を継続的に実施します。</p>

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	総合評価	B	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
総合評価			
B			

	取組	主管課	達成区分
1	広報誌の充実	まちづくり	B
2	広報媒体の多様化	まちづくり	B
3	あらゆる事業でのワークショップの活用	まちづくり	D
4	SNS等の活用による双方向システムの検討	まちづくり	B
5			
6			
7			
8			

成果や効果
<p>広報誌やホームページは、見やすさ・分かりやすさに配慮しながら内容の充実と利便性向上に取り組んだ。また、複数のSNSを活用した情報発信の強化にも努め、行政と住民の情報共有の手段を拡充した。</p> <p>また、地区懇談会や自治会長会での意見交換の継続により、地域からの意見を聴く機会の確保に努めた。</p>

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性
<p>広報誌やホームページは、内容の充実と利便性向上に加え、時代に即した見せ方や情報提供の方法等の検討が必要である。</p> <p>広聴体制の充実については、現行の取組を継続しつつ、双方向システムの活用や運用方法の検討が必要である。</p>

■第5次佐川町総合計画 施策評価シート

分野	行財政	施策番号
施策	町づくりを担うファシリテーター人材づくり	44
主管課	まちづくり推進課	

施策方針
<p>地域づくりを進めるための基礎となる「自分ごと」意識の醸成を図るため、多様な意見を引き出し、合意形成を図る地域のファシリテーターを育成します。ファシリテーター活用による話し合いを推進することで地域の課題を地域で考え、解決する、楽しさ、充実感を感じてもらい、町づくりへの参加を促進します。</p>

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">D</td> </tr> </table>	総合評価	D	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
総合評価			
D			

取組		主管課	達成区分
1	ファシリテーター講座の開催	まちづくり	D
2	事業計画時のワークショップの活用	まちづくり	D
3			
4			
5			
6			
7			
8			

成果や効果
<p>令和2年度以降はコロナ禍等により、ファシリテーター研修の実施は実施していないが、必要に応じてワークショップ形式を取り入れた会議を実施した。</p>

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性
<p>ファシリテーター研修で用いられるワークショップ形式の手法は、必ずしも合意形成や意見集約に不可欠ではなく、複数回の実施が必要となるなど、時間的・技術的な負担が大きく、また、参加者によっては心理的な負担となる場合もあり、結果として参加しにくい要因となっている。</p> <p>今後は、参加者の年代や性別などを考慮しながら、より柔軟で参加しやすい手法も検討し、誰もが意見を出しやすく、合意形成につながる方法を工夫していく必要がある。</p>

■第5次佐川町総合計画 施策評価シート

分野	行財政	施策番号
施策	未来へつながる人権尊重の推進	45
主管課	総務課、住民課、健康福祉課、教育委員会事務局	

施策方針	
大人から子どもまでの誰もが平等に権利を持ち、お互いの人権を尊重し、責任を分かち合い、個性を発揮できる社会を確立するために、地域全体で人権を尊重しあう社会を実現します。	

<table border="1"> <tr> <th>総合評価</th> </tr> <tr> <td style="font-size: 2em;">B</td> </tr> </table>	総合評価	B	<p>施策の評価区分</p> <p>A 計画（予定）を大幅に超える実績・進捗があった。</p> <p>B おおむね計画（予定）どおりの実績・進捗があった。</p> <p>C 計画（予定）を下回る実績・進捗となった。</p> <p>D 計画（予定）を大幅に下回る実績・進捗となった。</p>
	総合評価		
B			

取組		主管課	達成区分
1	男女共同参画の推進	総務	B
2	学習、研修機会の創出	教委	B
3	広報、啓発活動の定期的な実施	住民	B
4	虐待、DVなどの防止対策の推進	健康	C
5	虐待、DVなどの防止対策の推進	教委	C
6	人権意識の啓蒙活動の推進	住民	B
7	人権意識の啓蒙活動の推進	教委	B
8			

成果や効果
<p>男女共同参画に対する意識の向上を図るため、広報誌やLINEを活用した情報発信を行うとともに、職員を対象とした研修を実施した。</p> <p>地域支援ネットワーク事業や小中学校における人権教育を進めた結果、いじめや不登校、暴力行為の発生率が低下するなど、一定の成果が見られた。</p> <p>国の指針に基づき、子ども家庭総合支援拠点として要保護児童対策地域協議会の協議機能を活用することにより、関係機関と連携した支援を実施した。</p> <p>人権啓発分野としては、地道ながらも継続的な取組を行い、地域全体の人権意識の向上に努めた。</p>

第6次佐川町総合計画に向けた課題や方向性
<p>男女共同参画に推進については、日常の中で住民が考える機会を増やすよう、今後も幅広い層に向けた継続的な啓発に取り組む。</p> <p>要保護児童対策地域協議会は、子ども家庭総合支援拠点として協議機能の活用はできているが、調整を担う人材の育成が進んでおらず、専門的なスキルを持つ職員の確保が課題となっている。</p> <p>人権啓発については、引き続き継続的な取組が求められるが、その手法や内容については、今後見直しを図る時期に来ている。</p>